

	<h1>地方版 脊損ちば</h1>	<h2>第123号</h2> <p>2016年11月</p>
	<p>発行                  全国脊髄損傷者連合会                  千葉県支部                  〒285-0831 佐倉市染井野 5-42-7                  電話 050-3634-7257</p>	

ホームページアドレス = <http://www.nomanet.ne.jp/~ww101938/>  
 メールアドレス = [sijchiba.hide.iioaka@gmail.com](mailto:sijchiba.hide.iioaka@gmail.com)



第24回バーベキュー昼食会 2016.9.4 於:マザー牧場ジンギスカンガーデンズ

<脊損ちばNo.123 目次>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度第3回定例役員会議事録・・・・・・・・・・P2~P3</li> <li>・平成28年度第4回定例役員会議事録・・・・・・・・・・P3~P6</li> <li>・平成28年度千葉県支部ピアサポート活動の報告・・・・・・・・P6~P9</li> <li>・家族の足跡達 21の巻 千葉県 露崎耕平・・・・・・・・P10</li> <li>・My Style vol.20 千葉県 進藤加代子・・・・・・・・P11</li> <li>・「LIKE」 千葉県 尾崎ひかる・・・・・・・・P12</li> <li>・千葉県初、リフト付き高速バスの実証運行を開始・・・・・・・・P13~P15</li> <li>・脊髄再生最新医療ニュース・・・・・・・・P16~P17</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第24回バーベキュー昼食会開催される・・・・・・・・P17~P18</li> <li>・第4回「みんなの音楽会」チラシ・・・・・・・・P19</li> <li>・第4回「みんなの音楽会」協賛のお願い・・・・・・・・P20</li> <li>・全脊連 千葉県支部 2016 忘年会だよ全員集合・・・・・・・・P21</li> <li>・第14回脊髄損傷リハビリテーション講習会・・・・・・・・P22</li> <li style="text-align: center;">～脊髄損傷者の生活を豊かに～</li> <li>・ピアサポート実施について・・・・・・・・P23</li> </ul>
---	---

# 平成二十八年度 第三回定例役員会議事録

平成二十八年七月三十一日  
市原市三和保健福祉センター(サハート) 階研修室

出席者…(アイウエオ順 敬称略) 12名

飯岡秀之、尾崎ひかる、忍 司、上代有希、金谷喜三郎、佐藤翔太、千葉均、露崎耕平、富田健一、豊田尚洋、中澤恵子、若林武

## 【一般経過報告】

1. 千葉リハ関係

(i) ピアサポート

6月22日 テーマ「自動車」 参加者：露崎、尾崎、佐藤

7月27日 テーマ「外出」 参加者：露崎、尾崎、佐藤、上代

(ii) 脊損リハビリテーション講習会

日程：11月23日(水) 13:30～(開場13:00)

会場：千葉リハビリテーションセンター 大ホール

内容：①講演「脊髄損傷者に対するロボティクスリハの実際について」(仮題)

(藤平智也氏、佐藤仁俊氏)

②講演「車いすシーティングについて」(仮題)

(片山友樹氏、太田直樹氏)

その他：午前中に千葉リハセンターの職員研究発表会が予定されています。

2. 脊損ちば第122号

7月31日 会員等に発送

3. 第5回食事会について (HAPPYランチ会)

7月10日(日) ホテル日航成田 本館2F/中国料理 「桃季」

T286-0106 千葉県成田市取香500

TEL: 0476-32-0032

受付：11時半 食事会スタート：12時 会費：2,500円

参加者：25名(お子さん4名含む)

会の模様は脊損ちば122号に掲載

## 【今後の課題】

・案内ボードを出すことで、駐車場への誘導をしやすくする。方法を検討。  
・ホテルを使い続けることで、車椅子が使いやすくなるように働きかけていく。

(入口のスロープ、トイレ等)

4. その他

(i) 入会者 なし

退会者 なし

会員数 7月30日現在 108名

【本部報告事項】

(i) 第15回定時総会(岡山県大会の総括)

・事務局の不手際もあり、採決の挙手で委任された代議員が複数挙手する事態があった。来年度から総会を欠席する代議員は委任状提出ではなく議案書に議決権行使の書類もしくはメールにて添付して予め集計しておく。

・連合会の活動を通じて定款項目を気になった点を集計しながら次期を見て定款変更を検討していく。

(ii) 損保協会助成金の件

・沖縄県大会のシンポジウムに交通事故に関連した講演資料とピアサポート事業のデータベース化及びITによるコミュニケーション支援ツールの提案資料作成。

(iii) 会員名簿の紹介

・脊損ニュースの発送ロスを軽減することと会費納入を確実にするため、本部と各支部の名簿がしっかりと一致させていく。各ブロック理事が各支部へ送って住所や免除会員などの照合を行って集約していく。

(iv) 厚生労働大臣表彰について

・事務局推薦として妻屋代表理事を推薦することを満場一致で確認した。

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. 第23回バーベキュー昼食会

9月4日(日) マザー牧場

千葉県富津市田倉940-3 TEL: 0439-37-3211

受付：11時 スタート：12時 会費：会員2,500円

申し込み締め切り 8月31日 若林副支部長まで

参加予定者：尾崎、忍、上代、金谷、佐藤、千葉、露崎、富田、豊田

中澤、若林、飯岡  
駐車場誘導係：金谷、上代

受付：若林  
進行：露崎  
写真：豊田

詳細については脊損ちば1222号参照

【ToDo】

・千葉リハの訓練室と病棟にチラシを置いてくる。(佐藤) ↑チラシ  
PDFをメールする(飯岡)

2. ピアサポートについて

8月・8月24日(水) テーマ未定 参加者：露崎、尾崎、佐藤、上代  
9月・9月28日(水) テーマ未定 参加者：露崎、尾崎、佐藤、上代

3. 第39回関東甲信ブロック会定期総会

11月5日(土) Or 11月6日(日) 栃木県支部主催 詳細未定  
「平成27年度の活動報告」、「平成28年度の活動計画」、「本部及び関東甲信ブロックへの要請事項」要提出

【ToDo】

・11/6は支部役員会とかぶっているの、日程を再度ブロック長に確認する。役員会の日程変更については支部長に一任する。(飯岡)

4. 平成28年度ピアマネージャー現任研修会

11月5日(土) 東京都支部主催 詳細未定

5. 脊損リハビリテーション講習会

①車椅子展示について

・スペースケア鈴木氏から協力いただけることを確認。ただし、千葉リハには支部からOKをもらって欲しい。

②自動車展示について

・昨年同様実施するが、展示場所がわかりづらかったので、駐車場の中央列に変えてもらう等の工夫が必要。

③手動装置の無料点検について

・昨年同様アストロにお願いする。

【ToDo】

・スペースケアに車椅子展示をお願いして良いか、場所を確保してもらえ  
るか千葉リハに確認する(飯岡)

・自動車展示と手動装置の無料点検を実施可能か千葉リハに確認する。

(飯岡)

・自動車展示場所は入口正面のわかりやすい場所で良いか千葉リハに確認する。(飯岡)

6. 第4回みんなの音楽会  
12月11日(日) 千葉県千葉リハビリテーションセンター大ホール

◎次回役員 平成28年10月2日(日) AM 10時  
サンハート 2F ボランティアルーム

### 平成二十八年度 第四回定例役員会議事録

平成二十八年十月二日(日)

東京三和保健福祉センターサンハート三階ラテアルーム

出席者：(アイウエオ順 敬称略) 9名

飯岡秀之、石井正彦、尾崎ひかる、忍 司、金谷喜二郎、佐藤翔太、千葉均、中澤恵子、若林 武

#### 【一般経過報告】

1. 千葉リハ関係

①ピアサポート

8月24日 テーマ「福祉サービス」 参加者：尾崎、佐藤、上代  
9月28日 テーマ「家屋」 参加者：露崎、尾崎、佐藤

【検討課題】

・テーマごとの支部メンバーの写真についても、ピアサポート時に紹介してもらってはどうか。

②脊損リハビリテーション講習会

日程：11月23日(水) 13：30～(開場13：00)

会場：千葉リハビリテーションセンター 大ホール

内容：①手動装置の無料点検

↓千葉リハより実施了承済 アストロへの依頼中(露崎氏)  
②自動車展示

↓千葉リハより実施了承済。ただし、場所は昨年同様都市、入口付近に案内を出すことになった。

③複数メーカーの車椅子展示

↓千葉リハが主体となつて行うので、展示してほしいメーカーや車種を挙げてほしい。

2. 第23回バーベキュー昼食会

9月4日(日) マザー牧場

千葉県富津市田倉940-3 TEL: 0439-37-3211

受付: 11時 スタート: 12時 会費: 会員2,500円

参加者: 31名

【検討課題】

・気温が高く、頸損には気候が厳しすぎる。来年度の時期は9月後半か10月初旬にしてはどうか。

・昼食会後に現地で行うゲーム等を検討する。

3. 第4回みんなの音楽会

12月11日(日) 10:00~16:40

千葉県千葉リハビリテーションセンター 大ホール

チラシ: 作成依頼済

詳細: 別紙参照

4. その他

①入会者 なし

退会者 9月: 吉野一夫氏(長生郡長南町)、高浦智也氏(木更津市)、

出口龍彦氏(相市)

会員数 10月1日現在 105名

②熊本地震関係

支部として3万円を寄付した。

③寄付

寄付金 玉木氏、石井氏

ハガキ 千葉氏、島山氏、石井氏、茂木氏

【本部報告事項】

特になし

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. ピアサポートについて

10月: 10月26日(水) テーマ未定 参加者: 尾崎 佐藤

11月: 11月30日(水) テーマ未定 参加者: 尾崎 佐藤

2. 会報123号を発行について(11/13發送予定)

①原稿作成担当

・千葉リハピアサポート活動報告: 千葉

・支部ピアサポートのお知らせ: 千葉

・My Style vol. 22: 進藤

・子育て日記: シンマイ父さんが行くx2 vol. 21: 露崎

・第24回バーベキュー昼食会報告: 豊田

・忘年会案内(12月): 千葉

・第4回みんなの音楽会案内(12月): 露崎

・第14回 脊髄損傷リハビリテーション講習会案内: 千葉

・LIKE: 尾崎

②原稿: 尾崎 10/25

編集終了印刷依頼: 11/4

会報納品: 11/11

編集終了後、メールかUSBにて直接印刷所に送る 担当: 千葉

【ToDo】

・LIKEは役員以外にも書いてもらいたいため、原稿を募集する内容を

会報に掲載する。(飯岡、千葉)

3. 平成28年度ピアマネジャー現任研修会(東京都支部主催)

11月5日(土) 13:00~17:00 戸山サンライズ 詳細未定

①参加者について

↓飯岡、(尾崎、佐藤)

【ToDo】

・戸山サンライズは駐車場が狭く、止められる台数は限られている。尾崎、

佐藤の両名については、千葉県支部として止められる台数を確認の上、3

台分止められるようであれば参加する。(飯岡)

4. 第39回関東甲信ブロック会定期総会(栃木県支部主催)

日程 11月6日(日) 10:00~12:00

会場 戸山サンライズ

住所: 東京都新宿区戸山1-22-1

電話: 03-3204-3611

最寄り駅：若松河田駅「若松口」から徒歩約6分  
 宿泊料金 シングル .. 6,000円(朝食付き)  
 ツイン2名 .. 6,000円(1人)(朝食付き)  
 ツイン1名 .. 8,000円(朝食付き)  
 昼食代(6日) .. 1,000円 / 1人

(12時より、お弁当の昼食)

「平成27年度の活動報告」、

平成28年度の活動計画」、「本部及び関東甲信ブロックへの要望事項」を提出する

参加者について

↓露崎、飯岡

本部及び関東甲信ブロックへの要望事項について

↓セルフスタンドでの車椅子使用者への対応徹底について

↓空港リムジンバスの車椅子対応早期実現について

5. 脊損リハビリテーション講習会

① 展示してほしいメーカーや車種について

↓パンテラ、TIG、OX、その他固定車。各種クッション

【ToDo】

・上記車椅子メーカー、クッションの展示を千葉リハにお願いする。(飯岡)

② 現時点で分かっている参加者について

↓若林、石井、中澤、金谷、尾崎、飯岡

6. 忘年会

12月4日(日) 18時〜20時↑昼間に実施することも議論されたが、忘年会は夜の方がよいとの結論

場所について

ホテルポートプラザちば 043-247-7211

千葉市中央区千葉港8-5

会費について

宴会のみ 5,000円 宿泊込み 13,000円

参加申込先：飯岡

申込み締切り：11月27日

【ToDo】

・ポートプラザちばの営業と連絡を取って、詳細を詰めていく。(飯岡)

7. 第4回みんなの音楽会  
 (一) 協賛依頼について

協賛企業・団体が12〜15社・団体程度必要のため、全員で協賛依頼を行う。  
 ↓来年度は、ブロック主催にすることでブロックからの費用を捻出してはどうか。

【ToDo】

・ブロック会議主催にできるか、ブロック長に確認する。(飯岡)

[1] ボランティアについて

5名程度必要

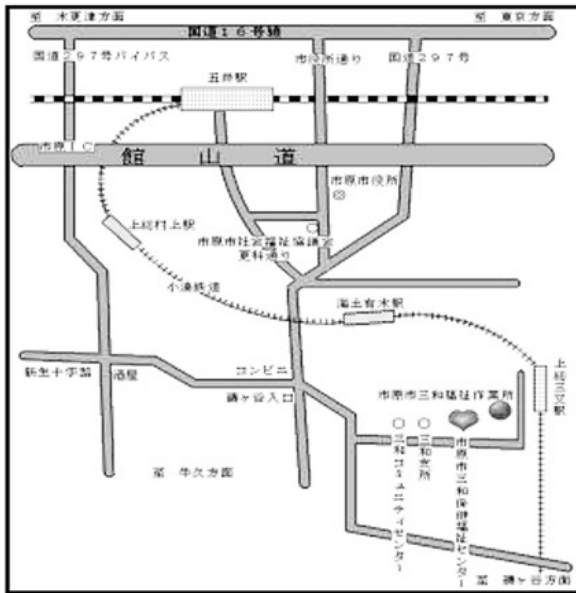
↓千葉リハスタッフにお願いしては。

【ToDo】

・詳細は次回役員会にて決定する。

◎次回役員 平成28年11月13日(日) AM 10時  
 サンハート 1F 研修室

会議前に脊損ちば123号の発送準備を行う。



◎役員会およびピアサポート実施会場  
 市原市三和保健福祉センター(サンハート)  
 所在地 〒290-0207 市原市海土有木 225-4  
 TEL 0436-37-7100  
 FAX 0436-37-7510

## 「第4回みんなの音楽会」

第4回みんなの音楽会進行状態をご報告します。

◎チラシ制作中です。

◎サンコーユニット A4片面 フルカラー 1,000枚 A1看板 2枚

- ・ 日程：2016年12月11日 日曜日
- ・ 第1部 稲毛おんぶらす (吹奏楽) 第2部 ブルーウイング (エレキバンド)
- ・ 場所：千葉県千葉リハビリテーションセンター内ホール
- ・ (千葉県千葉市緑区誉田町1丁目45番2)

### 当日の大まかな流れ

10:00	集合	
10:00~11:00	セッティング・リハーサル	
11:00~12:00	各自昼食	控室をご用意しております。
12:30	開場	受付開始
13:00~13:15	はじまりの会	
13:15~14:05	第1部演奏	50分間演奏
14:05~14:25	休憩	30分間
14:35~15:25	第2部演奏	50分間演奏
15:30~15:40	おわりの会	
15:40	撤収作業開始	演奏者は撤収出来次第お帰りください。
16:40	撤収等完了、解散	

今回は、自動車での移動というテーマで行いました。前半はスタッフ山崎さんに「車に乗る前に知っておきたい9のこと」を話してもらい、後半はフリートークで気になる点を話し合いました。

まずは車に限らず外出時に気になるトイレに関する不安からです。入院中に自分の排泄のリズムをつかんでおくことも大切ですし、事前に車イスで利用可能なトイレの場所を調べてから外出すると慌てずに済みます。続いて制度についてです。適正な手続きを踏めば、自動車税や「福祉目的の車両購入・改造」にかかる消費税が免税になるそうです。また、警察署で駐車禁止除外指定車の証明書を発行できます。使用時は必ず当事者の乗車が必要なこと、申請から発行に一月ほどかかること、有効期限が三年で更新が必要なことなどの注意点も教えていただきました。自分で運転する場、運転免許センターに届け出て、車イスからの移乗やハンドル・アクセル操作の検査を受けて許可を得る必要があります。手動装置の操作に不安があれば特定の教習所で実習を受けることも可能だそうです。最後に、山崎さんが実際に自家用車を利用する動画を見ながら、車イスの積み降ろしの仕方や、運転時に気を付けるポイントなどを教えて頂きました。15kgほどある車イスも、テコの原理を利用すれば女性でも積み降ろしできます。自身での積み降ろしが難しい場合は、車屋にリフトを取り付けて電動で収納する装置もあるそうです。減免税の対象にならず60万円ほど掛かること、車イスの積み降ろしのしやすさや雨の日の屋根代わりになるという

- ◆実施日 6月22日
- ◆テーマ 自動車での移動について
- ◆参加者
  - 《連合会》 露崎様(〓)家族、佐藤様、上代様 《更生園》2名
  - 《スタッフ》 山崎 SW会沢 OT川人 PST斯波/藤平
  - H様(〓)家族
  - 《入院》 K様、N様、M様、N様、N様、S様、K様、M様、M様、

## 平成二十八年 損保協会自賠責運用拠出事業 千葉県支部ピアサポート活動の報告

た利点がある一方、車高が上がるため駐車場等に注意が必要なこと、車によっては車庫が荷重により変形することなどに注意が必要とのことです。手動装置については、車庫入れなどの操作に慣れるまで多少時間がかかるようですが、運転手それぞれの能力や特徴に合わせて装置を選ぶことが可能です。また、運転中は褥瘡対策を怠りやすく、赤信号停車時にプッシュアップを行う、ロホクッションを使用するといった工夫をするとうまいそうです。

後半は、山崎さんの話も踏まえ、参加者が気になることを話し合い、連合会の方々からもアドバイスをいただきました。参加者の方から、自動車税の免税制度について陸運局に問い合わせたところ、自身がまだ一度も車を利用していないため制度を利用できなかったとの経験談がありました。自宅に戻れる時期が分からず、一度車を処分すると再取得が難しくなるのではないかと不安もあり、自動車税を払い続けているそうです。連合会の方から、一度車の登録を抹消し、必要な時に再登録すれば自動車税がかからないこと、保険も凍結すれば、最長10年間は等級を保持できるといったアドバイスをいただきました。最後に、これからの時期は車内が熱せられ、高温になったシートベルトや座席で低温やけどをすることがあり、車内の温度に気を配る必要があるという話がありました。乗車前に車内の温度を確認すること、カーシールド等を利用すること、ロホクッション等熱に弱い器具を車内に残さないことといったアドバイスを受けました。

ここでご紹介できなかったものも含め、今回は活発な話し合いになり、多くの情報を共有できました。皆様、ありがとうございました。

- ◆実施日 7月27日
- ◆テーマ 外出について
- ◆参加者
  - 《入院》 H様、N様、S様、O様、K様、K様 (&「家族」)
  - 《連合会》 露崎様 (&「家族」、佐藤様、尾崎様、上代様
  - 《更生園》 2名
  - 《スタッフ》 山崎、SW会沢/上野、OT川人/草野/大島
  - 心理 斯波/藤平 実習生2名

今回は「外出の時知っておきたい5つのこと」として、外出の際のポイントを共有

しました。こんなとき、わたしなら」という視点で、連合会の方からもアドバイスを受けました。

1つ目のポイントは「やっぱりトイレ」です。連合会の方から、「出かける前に公共の建物や病院、駅、スーパーなど、利用できるトイレを調べておく」、「利尿作用の少ない飲料にする」、「なるべく具体的な工夫を教えてくださいました。外出前に利用できるトイレの場所と辿り着く時間を計算しておいたり、もしもの時に備えて尿とりパットや着替えを準備しておくといった工夫で、不安なく外出を楽しめるそうです。また、トイレの失敗は誰にでもあるので、失敗しても気にしないことが大切とのことでした。

2点目は「自分の体と向き合うこと」です。水分の摂取量と排泄の関係、排泄リズムを把握することや、尿意や便意がない方も何かしら体のサインが出ていることがあるので、排泄のサインに意識を向けていくことが大切です。また、実際に外出すると座りっぱなしの状態が続くことが多いので、褥瘡予防のために小まめにプッシュアップをする習慣を身に付けたり、皮膚ケアの継続を心がけることが大切とのことでした。

3点目は「できることを積み重ねる」ということです。外出先でトイレに行けた、車いすで縁石を乗り越えることができた、など少しずつできることを積み重ねながら外出の範囲を広げていけるとよいそうです。

4点目には「手帳で获得感を味わおう」と題して、サービス関係のお話もありました。割引、無料になる施設、サービスも多く、「公営駐車場は手帳所持で駐車料金無料となる場合がある」、「美術館や水族館などの入場料金が無料/割引になる」といった具体的な話がありました。公共交通機関については、「JRは同伴者がいれば一駅から半額だが、一人だけでの乗車だと100km以上乗らないと割引の対象にならない」といった注意点も教えていただきました。

最後の5点目は、「とりあえずどこかに出かけよう」という呼びかけでした。スタッフ山崎さんによる両国国技館での相撲観戦や沖繩旅行、タケノコ狩りに出かけた写真を見ながら、「不安は多くても、やりたいこと、行きたい場所をきつかけにとりあえず出かけて自信をつけていくことが大切」とアドバイスを受けました。

後半はフリートークの時間で、「飛行機に乗る場合はどんな手続きが必要ですか?」という質問が出ました。まずチケットを購入時に車いす利用であることを

伝えるそうです。その際、車いすの寸法や重量、手動か自動かといった質問を受けるので予め調べておくのと良いそうです。搭乗手続きは、障害者カウンターで行いますが、一時間前に手続きが必要なので注意が必要です。搭乗の際は、自身の車いすから機内専用の車いすに乗り換え、それで機内を移動して、さらに座席に乗り移る必要があります。手続きカウンターで機内用の車いすに乗り換えるよう促されることもあるそうですが、機内用の車いすは自操がしづらいため、搭乗直前まで自分の車いすを使いたい希望を伝えた方がいいとのアドバイスもありました。機内では、プッシュアップ等の身動きを取るためにエコノミーよりも広い席を利用できると快適だそうです。スペースの広いトイレがある場合もあるそうですが、揺れや便座の形状などから使用しにくく、搭乗前に済ませておく方が安心とのことでした。続いて、バスや電車の利用については、ノンステップバスかどうかや利用する駅のエレベーターの有無など事前の下調べが必要とのアドバイスがありました。ネットで調べるだけでなく、営業所などに電話すると、利用するバスの配車を変更してくれるなどの対応が得られる場合があり、ひと手間かけて相談することが大切とのことでした。

連合会の皆様から、外出に際しての具体的なアドバイスや励ましの声を多く聞くことができ、参加者の方々と和やかな時間を過ごすことができました。皆様ありがとうございました。

◆実施日 8月24日

◆テーマ 福祉サービスについて

◆参加者

《入院》 H様(&ご家族)、K様、S様(&ご家族)、S様、H様、S様  
 《連合会》 佐藤様、尾崎様、上代様  
 《更生園》 2名  
 《スタッフ》 SW森戸/上野 心理 斯波/藤平 実習生1名

ソーシャルワーカーから福祉サービスの種類や内容について紹介してもらい、連合会の方も交えて、随時参加者からの質問にお答えしたり、ご経験をお話していただきました。

まずは「福祉サービスの種類」です。サービスを利用するきっかけ(原因が事故の場合、①通勤中・勤務中については労災の対象、②交通事故の場合は損害賠償・自賠責、任意の保険など)、③その他の事故の場合は介護保険や障害福祉サービスが利用できるそうです。また原因が病気の場合は、年齢によって使える制度が変わり、①65歳以上は介護保険、②40～64歳までで特定疾病の場合は介護保険、③40歳未満、もしくは40～64歳までで特定疾病外の場合は障害福祉サービスとなります。介護保険適用になる特定疾病とは老化が原因とされる16疾病で、例えば脊柱管狭窄症や後縦靭帯骨化症などがあります。転倒・転落による外傷は加齢による病気とはならないので当てはまりません。65歳以上になると、疾病によらず、介護が必要な状態になれば介護保険の適用となります。

続いて、「障害福祉サービスの内容」についてです。まずは皆様が利用する可能性が高い「身体障害者手帳を使った障害福祉サービス」です。物品などの購入補助車いす、バスボード、リフターなど、ヘルパーや訪問入浴などの人的・環境的なサービス利用(利用料は自己負担1割で、所得により変わる場合もある)、住宅改修に関する補助、その他助成公共交通機関運賃の割引、自動車関係、税金減免があります。どのようなサービスが使えるかは手帳の等級などにより変わります。役所に相談したり、パンフレットで確認すると良いそうです。また、どのサービスも事前に申請が必要になるので注意が必要です。物品などの購入補助は、利用機会も多く、会場からもいくつか質問が出ていました。バスボードや電動ベッド、褥瘡予防のマットは1割負担で購入することができます。各物品によって補助の上限額が異なることに注意が必要ですが、カタログを見ながら見当をつけたり、業者さんに相談すると、希望に沿った物品が見つかるとのアドバイスがありました。

次は、「介護保険」についてです。サービス利用時の自己負担は、所得によっては2割負担の方もいますが、原則1割負担です。車いすや電動ベッドはレンタルになりますが、シャワーチェアなど直接肌に触れる物品は購入となります。その他、住宅改修補助(上限20万円)やヘルパーやデイケアなどの人的・環境的なサービス利用も可能です。

最後は、「年金制度(老齢・障害・遺族・労災)」です。障害年金は発症・受傷後から一年半後の申請となり、退院後に手続きすることが多いので忘れないよう注意が必要です。また、「障害年金受給中に老齢年金受給年齢になった場合は？」との質問もありました。年金は一人一年金(原則)種別によっては併給できるものもあります。で、年金額などを確認して選択をするという説明がありました。最近年金受給の申請手続きをされた方から、手続き書類に(算出して条件の良い方)という



選択肢があったことを教えていただきました。年金制度改革などもあり、利用開始時に年金事務所や労働基準監督署労災の場合、ソーシャルワーカーに確認しておくことが大切です。

退院後の生活を支える様々な福祉サービスがあります。情報が多く手続きが大変に思えますが、ご自身で全て把握する必要はありません。担当のソーシャルワーカーや連合会の先輩方に相談しながら、退院後の生活のイメージを作っていきます。

◆実施日 9月28日

◆テーマ 「家屋」について

◆参加者

《入院》 A様、K様

《連合会》 露崎様、佐藤様、尾崎様

《更生園》 2名

《スタッフ》 山崎 SW吉田/森戸 心理 斯波/藤平 OT 大島

今回は、「自宅へ帰る前に知っておきたいこと」として、家屋について写真のスライドを見ながら説明があり、連合会の先輩からも体験談や留意点を話していただきました。

まずは玄関についてです。出入り口の段差を解消するためにスロープを設置する際には、スペースとの兼ね合いにもよりますが、無理なく登れる傾斜にすることが大切です。スロープではなく昇降機を設置する方法もありますが、値段が高い、停電や故障時に困るといったデメリットもあります。最近の昇降機は停電時にも1〜2回は作動する、降りる際は電気が不要になっているものもあるとの情報がありました。

次に、生活動線についてです。室内はとにかく車椅子で快適に過ごせることが大切です。床材を畳からフローリングに変えたり、入り口は引き戸にするなど工夫ができます。改修だと時間や費用が掛かりますが、ホームセンターで販売されている板張りのじゅうたんなどを利用するのも良いとのアドバイスがありました。

トイレについては、室内の広さを確保するために、「タンクレストイレ」という背面タンクがないものを設置する、手すりの代わりに室内に発泡スチロール製のブロックを積んで物や手を置く場所を確保するなどの例があげられました。手すりは、床に釘を打たずに設置できるタイプもありますが、その場合は家屋改修費の補助は

適用されないので注意が必要とのこと。トイレには長く座る場合が多いので、座面の高さも非常に重要になります。クッションを置くことで調整でき、褥瘡対策にもなるとのアドバイスもありました。入院中に院内のいくつかのトイレを試しながら、自分が一番しっくりくる高さや手すりの位置を発見して参考にすると良いそうです。

続いて「質の良い睡眠が大切」という話題です。リビングの隣の部屋を自室として使い始めたものの物音や灯りが気になり、防音効果も付いた遮光カーテンを使って安眠できる環境を確保したというお話がありました。ベッドやマット選びも重要です。ご自身の体力や能力に合わせた寝具を選ぶ必要がありますが、退院後に体力がついてくるとリクライニング機能は不要になってくるとの意見もありました。また、参加者からは夜中にお尻の痺れを感じるというお話もあり、小まめに除圧や体位変換を行うことが大切とのことでした。

次は浴室です。改修せず、洗い場と浴槽の段差解消のためにすのこを敷く方法があります。石鹸や垢がついてしまい掃除が大変だったという体験談もありました。他に、バスボードを使う、リフターを使う、訪問入浴・通所入浴を利用するなどの手段があります。機械に座ってそのまま浴槽に沈む装置もありますが、つかまるどころがなく、滑りやすいので恐怖感がある、浴槽内で使えるスペースが狭まるなどのデメリットもあるそうです。連合会の方からは、浴室はスリッパして転倒しやすいこと、追い炊きやシャワーの温度ムラに気づかず火傷を負いやすいことなどの注意喚起がありました。シャワーで済ませるといっても多いようですが、湯船につかるとむくみや血行がよくなり、リラクゼーション効果もあります。常に重力がかかっているお尻を解放してあげられるので、出来れば浴槽に入るようにしようというお話がありました。

以上のような様々な改修・購入に費用助成を申請する際は、「事前申請」が大切になります。介護保険でどれくらい使えるのか、手帳のサービスは対象になるのか（前年度の課税状況や市町村によつてサービスが異なる）等、人によつて条件に違いがあるので担当のソーシャルワーカーにしっかりと確認しましょう。

最後は、入院中に病院内を冒険しようとの声掛けです。病院内のトイレや福祉用具を試したり、敷地内にある様々な傾斜のスロープを体験してみました。その体験を退院後の生活に当てはめてみたり、先輩方やスタッフに相談しつつ、より良い生活のための準備をしていくことが大切です。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

二十一の巻

# 家族の足跡達

千葉市 露崎耕平



こんにちは、みなさんお久しぶりです。  
お元気ですか？

うちは相変わらず賑やかにやっております。

あつこの間に夏が終わって秋がやって来ました。

毎年思っただけ大好きな夏はみじけなーって思っよね。

今年の夏はしづくがスイミングを始めた事も初めて富津のジャンポプー

ルに両親、妹と子供、うちの家族で1日全快で遊びに行っだ。

20年ぶりに行ったジャンポプール最高でした。



夢はアリエルと一緒に



私もガンバル



みのりもスクスク



ピザミマモリタイ



皆でお盆の迎え火

ややお水が苦手な子供達でしたがジャンポプールは大興奮！  
波のプールにすべり台、しづくは流れるプール、スライダーまで満喫。  
早く帰りたいと言っかなって思っただけど気が付けばホテルノヒカリが流れ  
る時間の目から子供達のお水が怖いはスッカリなくなりました。  
僕自身も水泳の選手だったのでしづくがスイミングに通うのは大賛成。  
なぜしづくがスイミングスクールに通いたかったのか。  
しづくはスイミングスクールに行きたいと自分で言いに来た、動機は！  
泳げるとなつりトルマーメイドのアリエルと一緒に泳ぎたい  
これですーナカナカ大きな目標！是非とも一緒に泳いだら良いよ。



ピザ作りにも挑戦の夏



早く食べたい



美味しかった

……

しづくがスイミングスクールに通ってからのみの水怖いもなくなり  
みのりもスイミング行っのい  
良いよ、おむと卒業したらどうもいよ。  
しづくが自分が通っていた同じスイミングスクールに通っていてなんか懐かし  
い。子供達の成長も早いよ、おむと早くい。  
こんなこと言っのも変だけれどもうちもうちもゆめゆめ大きくなっも良いのう  
と思ったりする事がある。  
おむとは支部のイベントでブロードマザー牧場暑かっただけで最高に楽しかった。  
子供達も大満足。  
車に乗ったとたんの寝落ち笑  
しづく、くるみ、みのり、そして真純ちゃん俺の大切な大切な愛する宝物、物  
ではないけれど掛け替えのない愛おしい宝物なのです。  
この大切な宝物どう守って行くか悩む事も多いけれどがんはこいっ。  
次回は何を書っかな。

# 『 My Style 』



vol. 20

こんにちは！すっかり秋めいてきた今日この頃、寒さを感じる日も増えてきました。季節の変わり目ですが、皆さん体調崩されていませんか？ 9月は台風がいくつも続きましたね。わたしは、ここ数ヶ月なかなかタイミング合わなくて行けずいた美容室に、やっと行けました（笑）

皆さんは、納得のいく、気に入ったヘアサロンに行けていますか？！わたしはカット、ヘッドスパ、縮毛矯正・・・今はメニューによって2つのサロンを使い分けています。行きたいサロンと行けるサロンはまったく別。大切な髪ですからね、やはり少しでも気に入ったサロンに行きたいのです！

その結果、2つとも路面店で駐車場なしのサロンになってしまいました(^\_^) それでも、レストルームが広めで入れる！という、一番嬉しい条件がクリアできていたので自分的には満足♪

なるべく近くにゲート式の駐車場を探しましたが、時に満車でさらに離れた駐車場へ！なんてこともあります。雨だとキレイになったあと濡れるのイヤだし、道路で滑らないか怖いし・・・などなど、精神的ストレスもありますけどね。（わたしがいろいろ気にし過ぎ？って話もありますか）

いつも週間予約とにらめっこしながら予約入れています。前日予約、当日予約もよくします（笑）

以前は都内表参道の〇〇専門サロン♪なんか頑張っていたんですけど、でも場所柄、店の目の前に車止めさせてくれていたのが奇跡！だったのです。ある時期からNGになってしまったので、泣く泣く通うことを諦めました。電車に乗る気は・・・全くありません(^\_^)；

そうしたことから、地元千葉市で探そう！と、3~4年くらい？サロンジブシーしていました。最近ようやく、その2つに落ち着いたかなという感じです。

今、カット&ヘッドスパのために行くサロンは、シャンプースペースへの階段があります。実際に見るまで不安はありましたが、電話で問い合わせた時に、「可能な限りお手伝いしますので。」と、快くおっしゃってくださったので、勇気出して行ってみたのです。

素敵なお店でしたが、やはり車いすを持ちあげていただくのは怖いなぁと感じました。わたし、ダメなんです、持ちあげられるのは苦手。それに、美容師さんは手が命ですからね。慣れないこととして大切な大切な商売道具である手を、ケガさせてしまったり痛ませてしまったら大変です。

なので、リピートはしないと思われたのですが、その後のアンケートやお手紙を通じて、なんと簡易スロープをご用意くださったのです！！本当にびっくりしました。そして嬉しすぎました。

「こりゃ浮気できないわ♥」って思われましたね（笑） 店長さんの素晴らしい心意気に感激しました。結局、もう1つ利用しているサロンはありますが、基本なにかあればココでと思って安心していただけることが嬉しいです。ヘッドスパやるなら、やっぱりフルフラットのシャンプー台でないとね♪

美容室は癒されリラックスできてこそです(\*^-^\*) ではまた♪

進藤勲代子

# 「LIKE」

みなさん、はじめまして m(.\_.)m

今年から役員に入らせていただいた尾崎です。平成26年5月27日、26歳のとき仕事中に荷物の下敷きになりL1損傷、完全麻痺です。今回は、9月から復帰したばかりの仕事場のことを書かせてもらおうと思います。私はもともと運送会社のドライバーで、その事務員として復職させていただきました。

復帰するまでの1年4ヶ月は自分の将来についてはかなり悩みました。全く別の新しい環境に飛び込むか(いっそ大好きな海のそばに引越しちゃおうかなあとか、この身体になったからには、勉強して福祉系の仕事をしたいなあ、とか)とにかく考えまくりました。

でも、ケガをした直後の1番の目標が復職することで、上司にも戻れるなら戻りたいと伝えていました。

なので、謙虚さと凶々しさを駆使して会社を改修してもらいました。いい会社で本当よかったです…!

今、働くことができることに感謝しつつ、気楽にがんばっていこうと思います。みなさん、これから寒くなる季節ですが、体をしっかり暖めてお過ごしください(^\_^)



会社入口のスロープ



2階の事務所に上がるための階段昇降機



事務所だとこんな感じです

## 原稿ご執筆のお願い

拝啓 深秋の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さて、本誌では「LIKE」のコーナーを設け会員の皆様に原稿ご執筆のお願いをしております。  
旅行記、趣味、現況など、なんでも結構です。下記連絡先までお寄せ下さい。  
〒290-0035 市原市松ヶ島2-16-21 Tel(fax兼)0436-21-0467 千葉  
E-mail:h-chiba@cg8.so-net.ne.jp

## 千葉県初、リフト付き高速バスの実証運行を開始

京成バスは、成田空港～海浜幕張駅・幕張メッセ線で、8月16日より千葉県内で初となるリフト付き高速バスの実証運行を開始する。

リモコン操作できる車いす専用の乗降リフトが車体中央部に搭載されており、車いすのまま乗車が可能。車いす対応座席は2席設置されており、車いす2席を利用した場合の定員は28名、利用しない場合の定員は44名となる。1日3往復運行する。

利用の際には、成田空港発は京成バス乗車券販売カウンターで乗車券を購入、幕張メッセ発では出発時刻の15分前までにバスのりばへ向かう必要がある。利用前日の午後5時30分までに事前予約が必要。幕張メッセ発のバスは成田空港第2ターミナル止まりで、第1ターミナルと第3ターミナルへは空港内無料循環バスに乗り換える必要がある。

これは、国土交通省関東運輸局が推進する2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の円滑な運営に向けたバリアフリー化に対応すべく、実施するものです。リフト付き高速バスには、リモコンで操作する車椅子専用の乗降リフトが車体中央部に搭載されており、お客様は車椅子をご利用のままバスにご乗車いただけるため、身体の不自由な方もお気軽にご利用いただけます。

リフト付き高速バスの運行概要は次頁のとおりです。

### リフト付き高速バスの運行概要について

1. 運行開始日  
2016年8月16日（火）
2. 運行会社  
京成バス株式会社
3. 運行区間  
成田空港第2ターミナル～海浜幕張駅～幕張メッセ中央
4. 運行時刻

#### 幕張メッセ中央行き

停留所名	出発時刻		
成田空港第2ターミナル 9番のりば発 (リフト利用者用)	8:35	14:05	19:45
成田空港第2ターミナル 12番のりば発	8:40	14:10	19:50
↓	↓	↓	↓
海浜幕張駅 9番のりば着	9:15	14:45	20:25
海浜幕張駅 着 (リフト利用者用) ※京葉線高架下	9:20	14:50	20:30
幕張メッセ中央 4番のりば 着	9:35	15:05	20:45

#### 成田空港行き

停留所名	出発時刻		
幕張メッセ中央 4番のりば発 (リフト利用者用)	6:25	11:25	17:00
海浜幕張駅 発 (リフト利用者用) ※京葉線高架下	6:40	11:40	17:15
海浜幕張駅 3番のりば発	6:45	11:45	17:20
幕張メッセ中央 3番のりば 発	6:50	11:50	17:25
↓	↓	↓	↓
成田空港 第2ターミナル 着	7:30	12:30	18:05

#### 5. 運賃

大人900円（小児…450円）

↓身体及び知的障がい者手帳をお持ちのお客様には、運賃割引制度がございませす（片道運賃の半額）

※介護人、付添人のお客様に対しても同様の運賃割引制度が適用されます（ただし原則1名まで）

※精神障がい者手帳をお持ちのお客様に対しては、上記割引が適用されません。

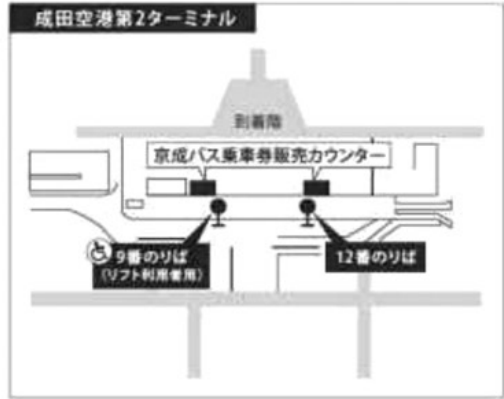
6. ご予約方法（車椅子をご利用のお客様のみ）  
車椅子をご利用のまま、乗車を希望のお客様は、事前予約が必要です。

乗車日の前日17時30分までに下記電話番号までご予約ください。

※ご予約は1ヶ月前から承ります。ご予約の受付は上記電話番号のみとさせていただきます。

※リフトをご利用でないお客様は、ご予約を承っておりません。予めご了承ください。

※車椅子をご利用のお客様は、成田空港内の京成バス乗車券販売カウンターにて乗車券をご購入の上、出発時刻の15分前までにバス乗り場へお越しください。



7. 乗り場

京成バス 新習志野高速営業所  
TEL: 0471470・6072 (受付時間 8:30 ~ 17:30)

※車椅子をご利用のお客様は、出発時刻の15分前までにバス乗り場へお越しください。  
※このバスは成田空港第2ターミナル止まりです。第1・第3ターミナルへお越しの方は空港内無料循環バスをご利用ください。



(1) 座席定員数



リフト付き高速バス車両

車椅子専用リフト



座席の様子



44名(車椅子対応座席が満員の場合)28名

(2) 車椅子対応座席の定員数 2名

(3) リフト耐重量 約300kg

※長さ120cm以内、高さ109cm以内、幅70cm以内の車椅子をご利用いただけます。

※車椅子専用リフトの操作や車内でのご案内は係員が対応いたします。

9. お客様のお問い合わせ先 京成バス株式会社 営業部

TEL: 047712・7400 (平日 9:30~17:30)

(※7/16~9/15の期間中は9:00~17:00までとなります)

## 脊髄再生最新医療ニュース

脊髄損傷に革新の再生技術を実現か、京都大学が報告

脊髄損傷は時間が経つほどに、再生させるのは難しくなると分かっている。機能しないケロイドのような瘢痕(はんこん)になる変化のために、神経細胞が定着しないからだ。このたび京都大学が、新しい発想の神経細胞の移植で再生につなぐことに成功した。

神経変性疾患の治療に向けて

京都大学医学部の研究グループが、有力科学誌である米国科学アカデミー紀要で6月15日に報告したものだ。神経細胞の移植は、脊髄損傷、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)を含む神経変性疾患に対する治療方法として長年にわたって検討されてきている。iPS細胞(人工多能性幹細胞)を使った治療のターゲットの一つとしても病名は挙がる。実際に細胞ベースの治療に対する脊髄損傷になった人からの期待は大きいのも明らか。しかしながら、人に対して実際に移植するとなると、課題が山積している。

定着しない課題

研究グループは、神経細胞の邪魔になるヒアルロン酸を分解する「コンドロイ

チナーゼABC(ChABC)で治療した後の聴覚神経の神経内に神経細胞を移植しても有効でないという結果に至っている。機能的に回復に導くことなくほとんどの移植細胞が数週間内に死んだ。神経細胞の中に入れてもうまくいかない。ほかの方法がないかと検討した結果として、別のアプローチを試すことになった。移植細胞をChABCで治療した後に、聴覚神経の外側に置くという方法だ。神経のさやとなる「グリア細胞」と呼ばれる細胞の一種が病的に増えてしまっている場所に表に移植する。結果として、このむしろお手軽にも見えかねない方法で、移植した神経細胞が自ら中へ移動してうまくいくと分かった。グリア細胞や神経細胞に案内されるように細胞移動を繰り返し、聴覚経路を回復し、聴覚機能の回復に導いた。

簡単に聞かせるが革新への道

表面移植というのは、簡単なようで革新的な移植手法になり得る。ドナーとなる移植する細胞の機能的統合を改善させる道を開く可能性がある。人の医療に重要な進歩をもたらす可能性もあるようだ。2016年07月14日

脊髄損傷のまひから11カ月で大幅回復、BBCのトップニュースに驚いた

英国の公共放送BBCニュースを見ていたら、トップニュースとして、事故で脊髄損傷となつてその後、二年経過した人が細胞移植で回復し、リハビリをしている映像が出てきて、驚いた。

脊髄損傷後にリハビリまで回復

早速論文を調べてみると、セル・トランスプランテーション誌というあまり聞き慣れない雑誌のオンライン版にトップで出ていた。治療はポランド、ワルシャワ大学で行われ、英国ロンドンの脊髄損傷専門の研究所も参加している。英国の幹細胞研究助成金も受け取っており、ガセネタではないだろうと読んでみた。実際には脊損となった人たちは、このような論文に一喜一憂され、多くの場合裏切られた気持ちになることが多い。今回もぬか喜びに終わるかもしれないと慎重に読んでみたが、説得力を感じ紹介することにした。タイトルは「脊髄損傷の脊髄結合を嗅球幹細胞(きゅうきゅうしゅうさいぼう)と末梢神経ブリッジで再生する(Functional regeneration of supraspinal connections in a patient with transected spinal cord following transplantation of bulbar olfactory ensheathing cells with peripheral nerve bridging)だ。」

でも脊髄損傷に対する細胞治療は行われてきた。中でも最も多く行われたのが、鼻粘膜から採取した再生力のある嗅細胞を培養して移植する方法だが、はつきり言って脊髄損傷となった本人の期待に応える治療には発展していない。

**脊髄がつながっている**

では今回の方法はこれまでとどう違うのか。詳細は割愛していった、治療過程をまとめておく。治療を受けたのは、38歳男性。外傷性に9番胸骨部の脊髄損傷で下半身が完全麻痺している。事故後21カ月後、手術で片方の鼻の穴の奥へと器具を挿入し、脳内に存在する「嗅球」を切除。細胞を培養して幹細胞、神経細胞、線維芽細胞などの混ざった細胞集団にしている。細胞が増えたところで、細胞を脊髄損傷の部分に移植していく。新しい細胞だけ残して古い細胞を除き、残った脊髄の部分に細胞を注入していく。その後で、ふくらはぎから取り出した6cmの神経細胞を使って脊髄をつないでいく。そうした手術によって脊髄損傷からの回復を待つ。これまで行われて効果があると言われた方法を駆使した治療となっている。私が説得力を感じるのは回復の様子だ。リハビリを続けても四カ月間は全く回復の兆候がなかった。ところが、五カ月に入ると急にまず体幹部、そして大腿と徐々に回復が進んでいく。脊髄損傷の程度を測る「ASIAスコア」で見ると、五カ月までは低い点数である「A」にとどまっていたが、6〜10カ月は「B」、そして11カ月からは「C」になった。分析の結果として脊髄の結合が認められるという。

**専門家の意見を聞いてみたい**

もちろん1人の研究だけで一喜一憂するのは間違っている。しかし、文章からも何となく自信が感じられるし、さまざまな可能性もすっかりと考慮している。今後さらに症例数を増やして効果が確かめられるだろう。私は専門ではない。また多くの人々が、このような論文に裏切られてきたことも知っている。その意味で、ぜひ専門の人の意見を聞きたいと思っている。一度専門家を招いて、この論文の読書会をニコニコ動画で公開したいと思っている。

2016年07月14日

**脊髄損傷の治療手段が広がる、新タイプの人工硬膜、スイス連邦工科大学が報告**

世界で最も有名なのは、スーパーマンのクリストファー・リーブだろう。乗馬中に落下して、首の脊髄を損傷し、全身にまひが起きた。脊髄損傷は治療

が難しい外傷の一つだ。いったん脊髄が破壊されると機能は元には戻らないとされてきた。この脊髄損傷を復活させる治療が実現するかもしれない。新技術の開発が日本を含めて世界的に進んでいる。

**シリコン樹脂に伸びる電極**

このたびスイスから登場したいわば「人工硬膜」のe・duraは有望なのかもしれない。スイス連邦工科大学ローザンヌ校のイワン・ミネフ氏らの研究グループが、サイエンス誌で2015年1月9日に報告したもの。大学が公開する動画は英語だが、製品の雰囲気は分かる。

(スイス連邦工科大学ローザンヌ校より)

脊髄は内側から髄質と皮質がある。その外側に3層の髄膜がある。内側から、文字通り軟らかい軟膜、クモの巣のようなクモ膜、さらに硬い硬膜となっている。e・duraは硬膜の機能を果たすことができる。見た目は、軟らかい透明のリボン状になっている。ここによく見ると、電極のようなものが見える。シリコン樹脂に、伸縮可能な金やプラチナを使った電極、薬剤が出る投与口が存在している。脳をはじめとした中枢の神経と手足のような末端の神経を相互に接続、化学的な相互作用も肩代わりする。研究グループは、脊髄損傷のあるネズミに対して移植。うまくまひから回復させることに成功し、はしごを渡る運動にも対応できるようになった。従来あつた同様な硬いタイプの人工硬膜を移植した場合には脊髄が損傷されてしまった。二カ月後も機能しているのを確かめられたという。効果は短時間ではなく数週間継続するところがポイントで、今後、さらに改良しながら人間の応用を目指すようだ。

**日本ではiPS細胞**

日本ではよく知られているのが、慶應義塾大学の研究グループによるiPS細胞を使った脊髄損傷の再生医療だろう。研究グループでは、ネズミを対象として、脊髄を人工的に破壊した上でiPS細胞を移植する手術を実施。脊髄の機能を回復させることに成功している。人間での応用も目指している。脊髄損傷はけがから時間が経過するほど、回復が困難とされる。岡野氏らの特徴は時間が経過してからもiPS細胞を使うと回復させる可能性も探っているところだ。スーパーマンも復活できるか。

2016年07月14日



# 第24回バーベキュー昼食会開催される

9月4日(日)に、マザー牧場ジンギスカンガーデンズにて第24回バーベキュー昼食会を開催いたしました。休日開催のイベントということもあり、ご家族でご参加された方も多く、参加者は31名で大変盛況でした。会場は自然に囲まれていて非常に気持ちが良い、BBQ(ジンギスカン)を楽しみながら、のんびりと歓談することができました。ただ、当日は朝から気温が上昇し、汗をかくことが困難な頸髄損傷の方には厳しかったようです。後日行われた役員会では、来年度については9月後半か10月初旬に開催してはとの意見がだされました。また、昼食会後に現地のできるゲーム等を検討することとしました。今回参加されなかった皆様、是非来年度は参加してください。



受付左から 露崎さん、日下部さん、若林さん



左から上代偉大ちゃん、上代さん、上代芽衣ちゃん、仲川さん



左から日下部さん、若林さん、金谷さん、渋谷さん



左から飯岡さん、佐藤さん、尾崎さん



左から忍さん(奥様) 玉木さん、石井さん、忍さん



若林さん(左) 日下部さん(右)



左から千葉さん、川人さん、磯部さん、千葉さん(奥様)



左から上代ファミリー(左)、と仲川さん(右)



くるみちゃん(左)



しづくちゃん(左)



お疲れ様



左から鈴木さんご夫妻、畠山さん



川人さん(左)、飯岡支部長(右)



磯部さん

# 第4回 みんなの 音楽会

入場無料  
全席自由



演奏  
第1部 稲毛おんぶらす  
第2部 ブルーウイング

2016年 **12月11日** (日)

千葉県千葉リハビリテーションセンター 2F ホール

千葉県千葉市緑区誉田町1丁目45番2

開場 12:30 開演 13:00

**第1部 13:15~14:05**

**第2部 14:35~15:25**

主催: **全国脊髄損傷者連合会**  
**千葉県支部**

問合せ先: 全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部事務局

**TEL:050-3634-7257**

平成28年10月吉日

各企業・団体ご担当者様

全国脊髄損傷者連合会千葉県支部  
支部長 飯岡 秀之

## 第4回「みんなの音楽会」協賛のお願い

拝啓 錦秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より私達の活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、標記音楽会ですが、お陰様で第1回から第3回まで大変好評を得ました。これも皆様のご協力とご理解有つての事と深く実感している次第です。

この音楽会は誰でも生の楽器の音を身体で感じ、音楽を楽しんで貰いたいと言う思いで発案させて頂きました。呼吸器を付けている等様々な理由でコンサート等に行く事が困難な子供や大人が沢山おります。「音楽は皆平等」だれでも、どんな人でも楽しむ権利があると私達は思っております。

この「みんなの音楽会」に皆様のお力を是非お借りできませんでしょうか。

音楽会が成功する様、良い音楽会に出来る様に、最善を尽くしてまいりますので何卒お力添えの程宜しくお願い致します。

つきましては、大変恐縮ではございますが、一口5,000円の協賛金にご協力をお願い申し上げます。

また何かご不明な点がございましたら、いつでもご連絡下さい。

敬 具

記

期 日：平成28年12月11日（日）

会 場：千葉県千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール  
千葉県千葉市緑区誉田町1丁目45番2

時 間：開演13:00

演 奏：13:15～15:25予定

振 込 先 ゆうちょ銀行 ○一九店（ゼロイチキユウ店） 当座預金  
口座番号：0723448 全国脊髄損傷者連合会千葉県支部

連 絡 先 全国脊髄損傷者連合会千葉県支部事務局  
〒285-0831 千葉県佐倉市染井野5-42-7 飯岡秀之方  
TEL：090-8948-1877  
Eメールアドレス：sijchiba.hide.iioka@gmail.com

以上

# 全脊連 千葉県支部 2016 忘年会だよ全員集合



拝啓 年の瀬もいよいよ押しつまり、皆様にはますますご活躍のことと拝察いたしております。

さて、恒例となりました忘年会が下記の通り開催の運びとなりましたのでご案内申し上げます。

時節柄、ご多忙中とは存じますが、しばし年末の雑事を忘れ盛大に飲み語り合い、行く年を送りたいと存じますので、ふるってご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【日 時】 12月4日(日) 受付 17時00分～

【宴 会】 18時00分～20時00分

【会 場】 ホテルポートプラザちば

【開催場所】 千葉市中央区千葉港 8-5 TEL043-247-7211

【会 費】 ○宴会のみ :5,000円

○宴会+宿泊 :13,000円

【催 し】 ビンゴゲーム大会・カラオケ

【施 設】 身障トイレ1F.2F.4F/駐車場/周辺には美術館・博物館・千葉ポートタワーなどがあります。

【申し込み・お問い合わせ】

全国脊髄損傷者連合会千葉県支部事務局 050-3634-7257

Eメール [sijchiba.hide.iio@gmail.com](mailto:sijchiba.hide.iio@gmail.com)

【締め切り】 11月27日

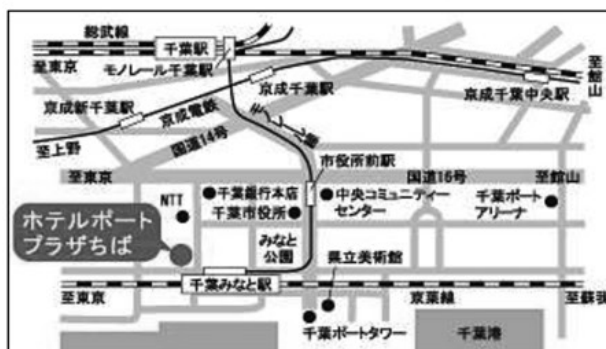
## 交通アクセス

### ○電車の場合

JR京葉線・千葉都市モノレール  
千葉みなと駅下車 徒歩1分

### ○車の場合

京葉道路・幕張IC下車または湾岸道路・  
習志野ICから国道14号線を約10km



## 第14回 脊髄損傷リハビリテーション講習会 ～脊髄損傷者の生活を豊かに～

日時 **11.23** **水** (祝日) **開演 13:30**  
※受付開始13:00～ **終了 16:00**

定員 120名

●参加費無料【どなたでもご参加頂けます】●  
※お申込み方法は、裏面をご覧ください。

講演1 13:35～14:25

「脊髄損傷とロボットリハビリテーション」

千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 佐藤 仁俊 藤平 智也

講演2 14:55～15:45

「生活に合わせた車いす選びのポイント」

千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 片山 友樹 太田 直樹

●企業による福祉用具の展示も予定しております。●

会場 千葉県千葉リハビリテーションセンター

主催：千葉県千葉リハビリテーションセンター  
助成：一般社団法人日本損害保険協会

お問い合わせ

千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域連携部 地域支援室  
〒266-0005 千葉市緑区誉田町 1-45-2  
TEL: 043-291-1831 Fax: 043-291-1847



この講習会は一般社団法人日本損害保険協会の助成を受けて実施しています。

# ピアサポート実施について



当支部では、脊髄損傷者当事者が自らの経験を基に脊髄損傷者（頸髄損傷者も含まれます）の悩みや心配ごとなどの相談に無料で応じますのでお気軽にご相談ください。

- ◇ 個人情報は一切外部に漏らしません。
- ◇ 難しい問題については専門相談員や、弁護士をご紹介します。
- ◇ ご家族やご友人、会員外の方も歓迎します。

## ■平成28年度実施日

H28. 11/13                      H29. 1/15、3/5

相談時間帯 14時～16時

## ■場 所

市原市保健福祉センター（サンハート）ボランティアルーム（P5案内図参照）

千葉県市原市海土有木225-4

■相談ご希望の方は実施日前日までに下記までご連絡ください。

担当者：飯岡 電話 050-3634-7257

Eメールアドレス [sjchiba.hide.iioaka@gmail.com](mailto:sjchiba.hide.iioaka@gmail.com)

■電話での相談も可能です。

国産車から外車まで  
オールメーカー対応



〒289-1512

山武市松尾町八田2399-7

TEL(0479)82-2236

FAX(0479)82-2246

お気軽にご相談ください  
〈販売と修理〉

## あなたのお役に立ちます

〈介護用品全般・車いす〉

## (株)山石商会

山武郡横芝光町長倉1308

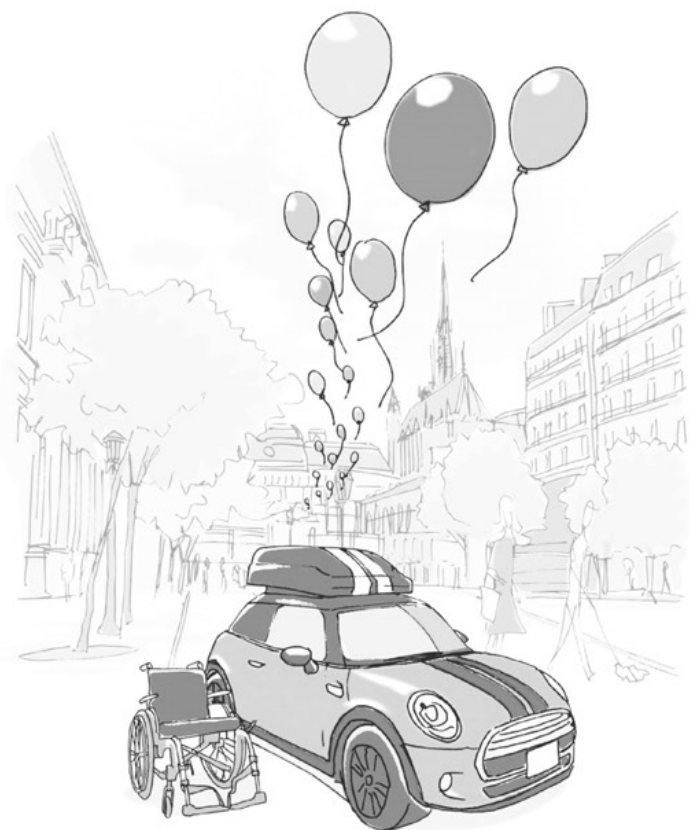
TEL(0479)82-2228

FAX(0479)82-8299

# アイのある技術で、ユニバーサル社会に貢献します。

ニッサン自動車工業は2016年4月より、

”株式会社ミクニ ライフ&オート”と社名を変更し、新たなスタートを切りました。



Happy car life

編集人 佐倉市染井野5-42-17 頒価二〇〇円  
全国脊髄損傷者連合会千葉県支部

発行人 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102  
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会



手でアクセル&ブレーキ  
手動運転装置

**APドライブ**

車いすを屋根上へ収納

車いす収納装置

**オートボックス**



車いすに乗ったまま  
スムーズ乗降

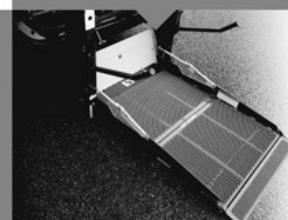
リモコン式

**乗降用リフト**

車いすの積み降ろしを  
サポート

車いす収納装置

**ウィンチェア**



福祉車両総合メーカー



株式会社 **ミクニライフ&オート**

〒349-1145 埼玉県加須市間口456-1  
TEL.0480-72-7221  
FAX.0480-72-7223  
<http://www.nissin-apd.co.jp/>